



静岡市 いきもの 散歩マップ

蒲原・御殿山コース

しょくぶつ

- **ウラシマソウ**
サトイモの仲間。4～5月に花が咲き、花からたれる糸のようなものを浦島太郎の釣糸に見立てています。
- **ツツブキ**
10～12月に黄色の花が咲き、その後綿毛になります。葉につやがあり、山地の日陰によく見られます。
- **ノカンゾウ**
ユリの仲間。7～8月の昼間にオレンジから赤色の花を咲かせます。陽当たりの良い湿った場所に育ちます。
- **アブラギリ**
秋に葉を落とす大きな木で、5～6月に白い花を咲かせます。種から塗料や油紙の材料となる油がとれます。
- **ニリンソウ**
キンポウゲの仲間。4～5月になると1本の莖に白色の花を2輪つけます。1輪や3輪の花をつけるものもいます。
- **ホタルブクロ**
キキョウの仲間。釣鐘のような形をした桃色の花を、6～7月に咲かせます。草原や山地に生えています。
- **ツユクサ**
7～9月に青色の花を咲かせます。早朝に咲いた花は昼頃にはしぼみます。人家付近の道ばたに多く育ちます。
- **ドクダミ**
6～7月に白色の花を咲かせます。全体に独特のおいみずけがあり、薬やお茶に使われます。日かげの湿ったところに生えます。
- **ヒガンバナ**
秋のお彼岸の頃に、赤い花を咲かせます。花が枯れた後に細長い葉は、冬の間だけ見られます。全体に毒があります。
- **イヌビロ**
実の形がビロに似ていて、食べてもまずいことから「イヌビロ」と名前がついていますが、ビロではなく、イチジクの仲間です。
- **スルガテンナンショウ**
サトイモの仲間。毒があります。山地の林内や林縁に生え、4～5月に淡い緑色の花を咲かせます。
- **ヒメウツギ**
アジサイの仲間。秋に葉を落とす小さな木です。4～5月に白色の花を咲かせ、卵の花とも呼ばれます。

- **ツルボ**
ユリの仲間。8～9月に淡い紫色の花を咲かせます。山野の陽当たりの良い場所が生えています。
- **ゴンズイ**
秋に紅色の袋に包まれた黒い実をつけます。その実の形から「キツネの茶袋」とも呼ばれます。
- **アカショウマ**
山地の林の中やそのまわりに生えています。5～7月に白く小さな花をたくさん咲かせます。
- **ヤマツツジ**
ツツジの仲間。4～5月に淡赤色の花を咲かせます。主に山地の林内や林縁に生えています。

アクセス情報



八坂神社には駐車場はありません。公共交通機関をご利用下さい。

- 【電車でのアクセス】
1. JR 東海道本線「新蒲原駅」下車
 2. 県道396号線（東海道）歩道橋を渡り、山側に向かい、蒲原宿「なまこ壁の家」の看板を右折（新蒲原駅より徒歩5分）

緊急連絡先

- 静岡県救急医療情報センター TEL&FAX:0800-222-1199
(休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- 消防 119番
- 警察 110番

注意事項

- ハイキングでの安全は自己責任をお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- 里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらすしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
- 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
 発行者：静岡市清流の都創造課
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
 TEL:054-221-1357 FAX:054-205-2666
 制作年：平成25年3月

どうぶつ・とり

- **キジバト**
「デデッポー」と鳴き、くびに青色をおびた灰色の模様のハトです。山地だけでなく、平地や市街地でも見られます。
- **トビ**
ガラスより大きなタカの仲間です。トンビとも呼ばれ、輪を描きながら空高く飛びます。「ピーヒョロロ」と鳴きます。
- **アオダイショウ**
全長1～2mになる本州最大のヘビで、全身褐色をおびたオリーブ色です。主に小型の哺乳類、小鳥を食べます。
- **ニホントカゲ**
全長20～25cmのトカゲで、山地から低地の陽当たりの良いところに生息し、昆虫やクモなどを餌にします。
- **モズ**
スズメより大きな鳥です。「キリキリ」「キキキ」「キチキチ」など高い声でさまざまに鳴きます。人家の庭先でも見られます。
- **ヤマガラ**
スズメくらいの大きさで、「ツツピー」「ツツピー」と鳴きます。公園などでも見られます。学習能力がとても高いです。
- **モリアオガエル**
体長4～8cmで、暗褐色や緑色をしたカエルです。「コロコ、コロコ」と鳴き、水上の小枝に泡のような卵を産みつけます。
- **アズマヒキガエル**
体長9～15cmになる大型のカエルで、頭の近くから毒を出します。繁殖期にオスは小さく「クッククッ」と鳴きます。
- **シジュウカラ**
スズメくらいの大きさで、「ツイー」「ツイー」と鳴きます。山地から、人家の周りでも見られます。
- **ヒヨドリ**
ハトより小さな鳥で、林や市街地、民家の庭で普通に見ることが出来ます。木の実、果物を好んで食べます。
- **タヌキ**
中型の哺乳類で、足が短く、ずんぐりした体つきです。雑食性で、小動物や果実などを食べます。
- **イノシシ**
雑食性の大型哺乳類で、丈夫な鼻で土を掘り返して、植物の根やミミズなどを食べます。農作物にも深刻な被害を与えます。
- **メジロ**
ウグイスに似ていますが、背側は全体的に黄緑色で、眼のまわりが白いのが特徴です。人家の庭先でも見られます。
- **ジョウビタキ**
スズメより少し小さな鳥で、秋に日本へやってくる渡り鳥です。山地から住宅地で見られ、「ヒツヒツ」と鳴きます。

外来生物

特 特定外来生物

- **アライグマ** 特
北アメリカ原産の外来動物です。最近では数が増え、農作物被害や日本の動物との競合などが発生しています。
- **ハクビシン**
近年数が増え、分布を広げている外来種です。額から鼻にかけて白いので「白鼻」といいます。雑食性で木のぼりが上手です。

むし

- **ツツレサセコオロギ**
体長1.5cmくらいの小型のコオロギで、8～11月に畑や草むらに見られます。「リリーリリー」と鳴きます。
- **ショウリョウバッタ**
メスは日本で最も大きなリョウバッタです。オスは飛ぶ時に「キチキチ」と音を立てるので、キチキチバッタとも呼ばれます。
- **アオスジアゲハ**
林のまわりにはいますが、市街地でも見られます。活発に飛びまわって、花を訪れます。幼虫はクスノキを食べます。
- **ヒメウラナミジャノメ**
4月から10月にかけて、3～4回発生します。林のまわりに多く、花の蜜を吸います。幼虫はイネ科の植物を食べます。
- **アサヒナカワトンボ**
体長4cmくらいの、金緑色で細い胴をもつトンボです。オスは、はねが透明なものがいます。
- **ヒメカマキリ**
体長3cmほどの小型のカマキリで、林のまわりで見られます。敵に喰い分けられると、地面に落ちて死んだふりをします。
- **モンキチョウ**
春早くから秋遅くまで、堤防のまわりなどで見られます。幼虫はシロツメクサやレンゲを食べ、成虫は花の蜜を好みます。
- **アサギマダラ**
春には南から北へ、夏から秋には北から南へ、2世代かけて移動します。ヒヨドリ(ツ)が特に好きです。

メモ



しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう 検索

静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。
 ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!! (ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)

